2021年11月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項　　目	記　　載　　内　　容
論文・総説		
1	著者名	Kojima H
	論文題名	Alternatives to animal testing
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	Impact. 2021, 44-45. doi:10.21820/23987073.2021.8.44
学会発表・セミナー発表		
1	発表者名（ポスター）	山本直樹[1,2], 平松範子[2], 加藤義直[3], 佐藤 淳[3], 佐々木 洋[1], 小島 肇
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] 金沢医科大学 医学部 眼科学講座 [2] 藤田医科大学 研究支援推進本部 治験・臨床研究支援センター [3] 日本メナード化粧品総合研究所
	演題名	不死化ヒト角膜上皮細胞 (iHCE-NY1) を用いた三次元角膜再構築モデルによる眼刺激性試験代替法の開発
	学会名, 発表年月及び場所	第41回日本眼薬理学会 (2021.11-6-7, 金沢)
2	発表者名（口頭）	Kojima H
	演題名	Utilization of Endocrine Disrupter Screening for reproductive Toxicity
	学会名, 発表年月及び場所	6th Asia-Pacific Symposium on Food Safety 2021 (2021.11,11, Jeju, Korea, Virtual)
3	発表者名（口頭）	小島　肇
	演題名	Computational toxicology の国際動向
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会第34回大会 (2021.11.11, 沖縄)
4	発表者名（口頭）	小島　肇
	演題名	生殖発生毒性評価におけるゼブラフィッシュ試験の課題と挑戦
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会第34回大会 (2021.11.11,沖縄)
5	発表者名（ポスター）	山口宏之[1,2], 小島 肇, 竹澤俊明[1]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] 農業・食品産業技術総合研究機構　生物機能利用研究部門 [2] 関東化学株式会社　技術・開発本部
	演題名	改定Vitrigel-EIT法の予測性能
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会第34回大会 (2021.11.11-13, 沖縄)

6	発表者名（ポスター）	西田明日香[1], 足利太可雄, 大野彰子, 飯島一智[2]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] 横浜国立大学　大学院理工学府 [2] 横浜国立大学　大学院工学研究院
	演題名	THP-1細胞を用いたナノマテリアルによる抗原提示細胞活性化能の評価
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会第34回大会 (2021.11.11-13, 沖縄)
7	発表者名（ポスター）	鈴尾美穂[1], 三浦結美[2], 西田明日香[2], 足利太可雄, 大野彰子, 飯島一智[3]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] 横浜国立大学　理工学部 [2] 横浜国立大学　大学院理工学府 [3] 横浜国立大学　大学院工学研究院
	演題名	THP-1細胞を用いたナノマテリアルによる抗原提示細胞活性化能の評価
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会第34回大会 (2021.11.11-13, 沖縄)
8	発表者名（ポスター）	水町秀之[1,11], 渡辺美香[2], 生悦住茉友[2], 梶原三智香[2], 安田美智代[2], 水野 誠3, 今井教安[3], 佐久間めぐみ[3], 芝田桃子[3], 渡辺真一[4], 上野順子[4], David Basketter[5,11], Chantra Eskes[6,11], Sebastian Hoffmann[7,11], David M. Lehmann[8,11], 足利太可雄[11], 寒水孝司[9,11], 武吉正博[10,11], 鈴木 将[1], 宮澤正明[1,11], 小島 肇[11]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] 花王株式会社 [2] 一般財団法人食品薬品安全センター　秦野研究所 [3] 株式会社コーセー [4] ライオン株式会社 [5] DABMEB Consultancy Ltd. Kingswood, UK [6] SeCAM, Magliaso, Switzerland [7] she consulting + service, Paderborn, Germany [8] U.S. EPA, Research Triangle Park, NC, USA [9] 東京理科大学 [10] 一般財団法人化学物質評価研究機構 [11] Validation運営委員会メンバー
	演題名	皮膚感作性試験代替法Epidermal Sensitization Assay (EpiSensA)のValidation研究
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会第34回大会 (2021.11.11-13, 沖縄)
9	発表者名（ポスター）	大野彰子, 西田明日香[1], 髙橋祐次,　飯島一智[2],　広瀬明彦, 足利太可雄
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] 横浜国立大学　大学院理工学府 [2] 横浜国立大学　大学院工学研究院
	演題名	THP-1細胞を用いたナノマテリアルによる抗原提示細胞活性化能の評価
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会第34回大会 (2021.11.11-13, 沖縄)
10	発表者名（口頭）	足利太可雄
	演題名	非動物実験アプローチによる皮膚感作のリスク評価とTTC
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会第34回大会 (2021.11.13, 沖縄)
11	発表者名（口頭）	足利太可雄
	演題名	動物実験代替法の国際動向と国内への影響 -OECDガイドラインNo.497を中心に-
	学会名, 発表年月及び場所	日本安全性試験受託研究機関協議会 第3回定期総会及び講演会 (2021.11.19, 東京)